

テーマ 5 : 森ハブ・プラットフォーム構築

第2回専門委員会でご説明する事項と、ご意見いただきたい観点は下記の通りです

第2回専門委員会でのご説明事項

#	ご説明事項	主にご確認・ご意見いただきたい点
1	森ハブ・プラットフォームでのマッチングのイメージ	✓ 森ハブ・プラットフォームにおけるマッチングのイメージや、そのための取組についてアドバイスをお願いします
2	会員申込状況サマリ	✓ 会員申込状況についてご確認ください
3	ニーズ・シーズ調査	✓ プラットフォーム会員向けのニーズ・シーズ調査のアンケート結果分析や活用において、アドバイス等があればご教示ください
4	キックオフイベント実施内容	✓ キックオフイベントの実施内容について、アドバイス等があればご教示ください

第1回専門委員会でのいただいたご意見とその対応方針は下記の通りです

第1回専門委員会でのご意見と対応方針

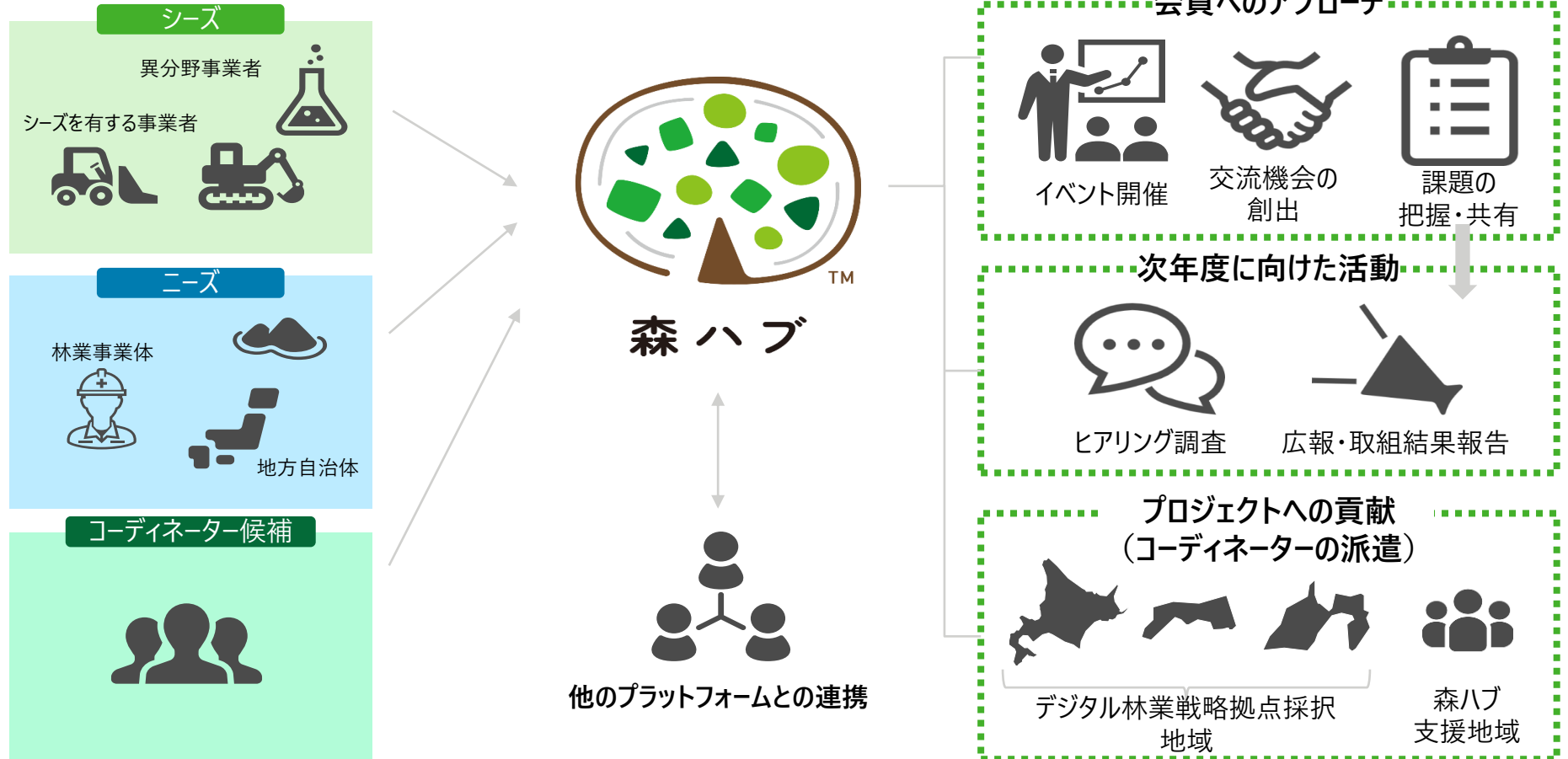
項目	ご意見概要	対応方針
プラットフォーム構築	<ul style="list-style-type: none"> ■ プラットフォームへの参加者について申込後にチェックを行うのか 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事務局による審査を想定しているが、原則どなたでも参加できるものとする。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 参加者はそれぞれの問題について解消をしたいと考えて入会してくるため、支援方法が有効なものとなるか確認したい 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 今年度は下記施策を想定している。 <ol style="list-style-type: none"> ① 別紙の会員紹介シートに、自身のソリューションや望むことについて記載いただく。この資料はまとめた形で会員に配布する。シートをベースに自身でマッチング可能なところに関しては自主的な活動を促す。 ② 会員を対象にニーズ・シーズアンケートを実施し、結果を取りまとめてキックオフイベントで展開する。そこで発表された課題をもとに、アプローチ手段についてシンポジウムで発表する機会を設ける。 ③ 必要に応じて地域の課題について深掘りするため、面談機会を希望制で設ける。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本当に困っている課題がアンケートに出てくるのか疑問である 	<ul style="list-style-type: none"> ■ アンケートは今回に止まらず、来年度に向けて継続して取り組む。必要に応じて個別ヒアリングも実施予定。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 省庁間の連携を行ってほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 可能な限り、各プラットフォームとの連携を調整する。 ■ 他省庁との連携については、地域循環共生圏（環境省）やローカル10,000プロジェクト（総務省）等と連携し広報を実施した。（広報実施先についてはP.7ご参照）

設置する森ハブ・プラットフォームでは課題の把握・共有やイベントを通じた交流機会の創出、並びにコーディネーターによる具体的な事業者支援を行います

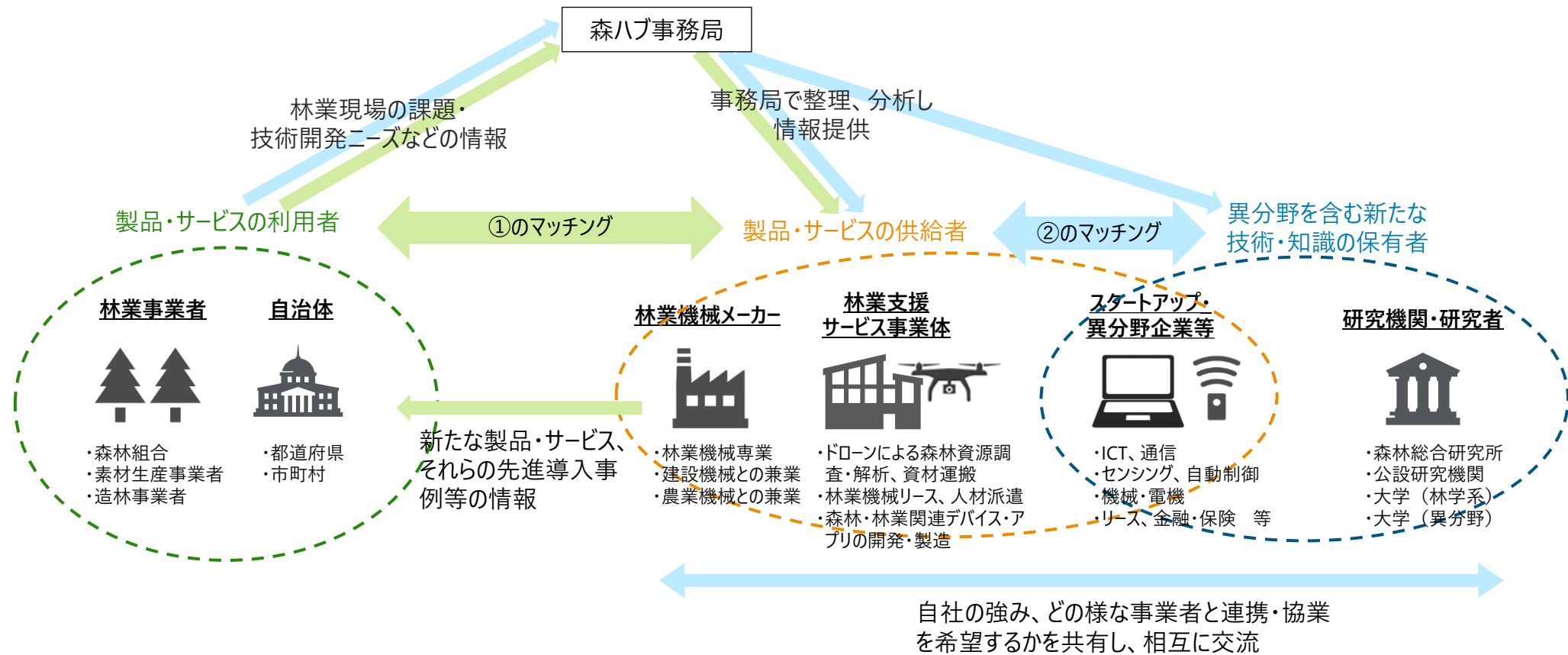
森ハブ・プラットフォームの全体像

プラットフォームの 目的・位置づけ

林業イノベーションを推進するために必要となる組織・人材・情報を集約し、地域のニーズや事業者のシーズのマッチングによる新技術・新製品の普及、新たなビジネス・製品開発プロジェクト等の創出を促進し、林業の安全性と生産性向上を実現する



森ハブ・プラットフォームにおけるマッチングのイメージ



①のマッチングのねらい

林業現場のニーズにマッチした新たな製品・サービスの探索や比較検討を容易にすることで、林業現場への普及を加速

今後の取組案（R6年度も見据えて）

- ・マッチングイベントを開催し、製品・サービスの供給者によるプレゼン、先進導入事業者によるプレゼンを実施
- ・Webサイトにおける上記プレゼン内容のアーカイブ化

②のマッチングのねらい

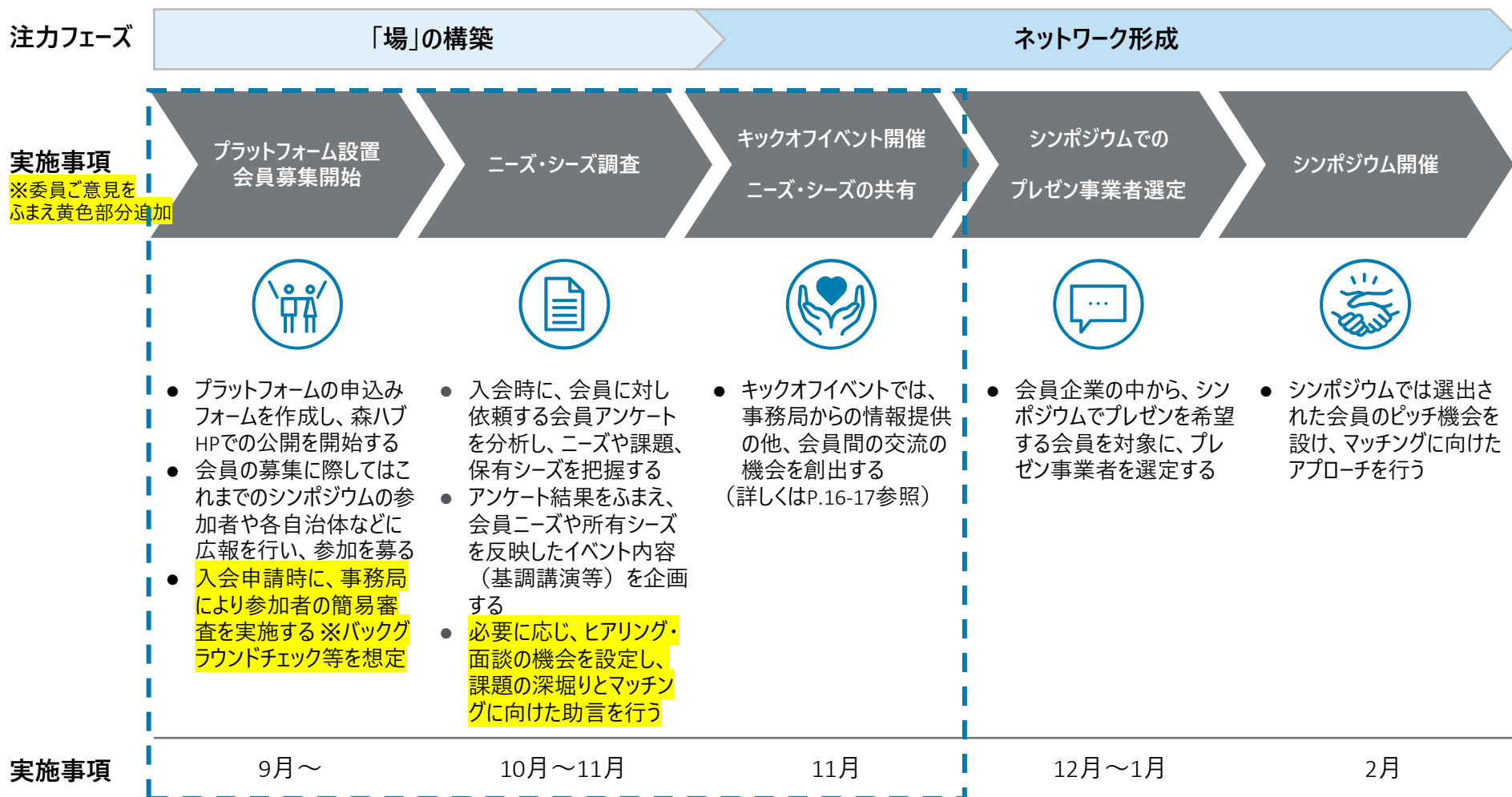
林業現場のニーズに即し、新技術を取り入れた新たな製品・サービスの開発・実用化や、新たなビジネスモデルの構築を加速

今後の取組案（R6年度も見据えて）

- ・マッチングイベントを開催し、各事業者がシーズ、連携・協業先の希望等をポスターやリーフレットとして掲示、参加者は自由に回遊して交流

森ハブHP内にプラットフォームの申込窓口を設置し、会員募集を行っています。また参加会員間のマッチングやネットワーク形成に向けたキックオフイベントの準備を進めています

今年度事業の流れ



今回のご説明対象範囲

【ご参考】会員募集時のリーフレット

林業イノベーションハブセンター（森ハブ）

「森ハブ・プラットフォーム」会員募集中 New

日本の林業にイノベーションを!

森ハブ・プラットフォーム

入会費
無料

林野庁では林業の安全性と生産性の飛躍的な向上を目指して、林業イノベーションを推進しています。そのために必要な組織・人材・情報が集まる場として「森ハブ・プラットフォーム」を開設します。林業イノベーションにご関心をお持ちの方は、ぜひご参加ください!

森ハブ・プラットフォームでできること

林業を行う地域・事業者のみなさま

- ✓ 新たに実用化された製品・サービスの情報を収集したい
- ✓ 課題の解決に向けて、様々な事業者とつながりたい
- ✓ 同様の課題・問題意識を持つ全国の自治体・事業者とつながりたい

製品・サービスや技術を有する事業者・研究機関のみなさま

- ✓ 林業現場の課題や製品開発ニーズに関する情報を収集したい
- ✓ 林業現場のニーズを踏まえて、自社の製品やサービスをPRしたい
- ✓ 異分野技術や専門知識をもつビジネスパートナーを探りたい

この他にも、みなさまからのご要望を踏まえ、今後の取組を検討します!

2023年度の予定

森ハブでは会員への情報提供、会員間の連携・ネットワーク構築を目的として、下記イベントを開催予定です。詳細は森ハブHPや会員向けメール等にてお知らせします。

2023年11月～12月開催予定

森ハブ・プラットフォーム キックオフイベント in 東京

プラットフォームに入会いただいた会員を対象に、事務局からの情報提供および会員間の交流につながるイベントを開催します。ぜひ、ご参加ください。

2024年2月開催予定

林業イノベーション推進シンポジウム（仮）in 東京

昨年戻に続き、今年度も林業イノベーションに関するシンポジウムの開催を予定しております。森ハブ事業の報告、各様事例紹介など、様々なコンテンツを検討中です。昨年の様子は森ハブHPより参照いただけます。

ご入会の流れ

登録はこちら

申込フォームより登録 → 事務局による受付 → 事務局より入会通知 → アンケート回答等

お問い合わせ先
森ハブ事務局
E-mail : meri-hub-pf@tohmatu.co.jp

森ハブHPはこちら

プラットフォームへの申し込みは10/17時点で252件あり、主に林業、林業支援サービス業ならびに製造業に関する方にご登録いただいております

プラットフォーム会員申込状況サマリ（10/17時点）

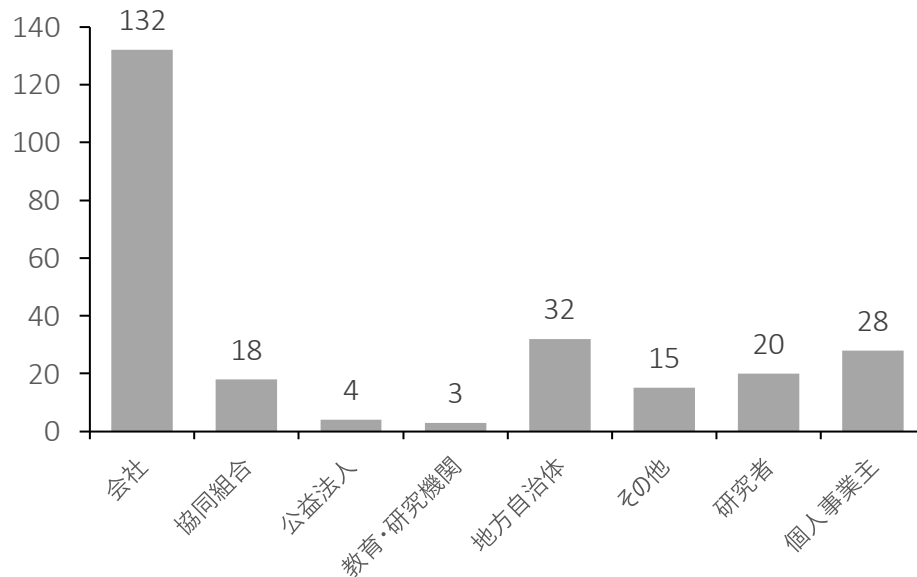
申込受付

252件

(10/17 14:00時点)

事業形態

(申込数)



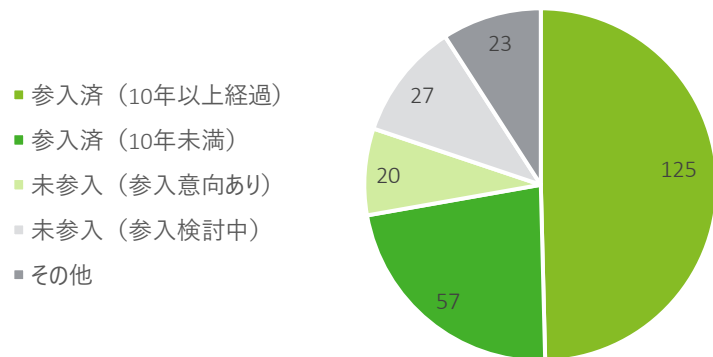
業種 ※複数回答

業種	件数
林業	193
林業支援サービス業	40
農業・漁業	2
鉱業	1
建設業	25
製造業	46
電気・ガス・熱供給・水道業	5
情報通信業	20
運輸業・郵便業	1
卸売業・小売業	8
金融業・保険業	3
不動産業・物品賃貸業	5
学術研究・専門・技術サービス業	36
宿泊業・飲食サービス業	0
生活関連サービス業・娯楽業	3
教育・学習支援業	5
医療・福祉	1
その他サービス業	22
公務	39
その他	59

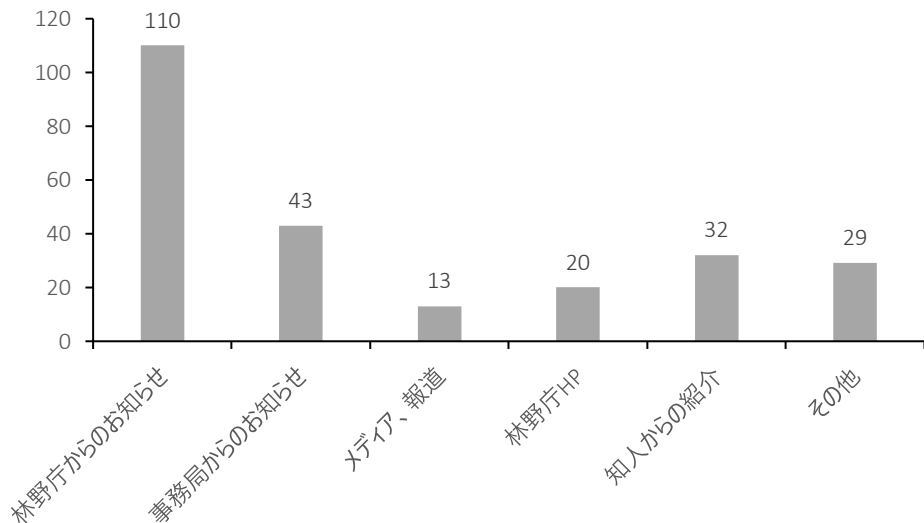
林業分野に参入済の事業者が約7割を占めており、興味関心のある領域は「森林調査、伐採・造林計画」「素材生産」「造林・保育」「Jクレジット」「木材流通」が挙がっています

プラットフォーム会員申込状況サマリ (10/17時点)

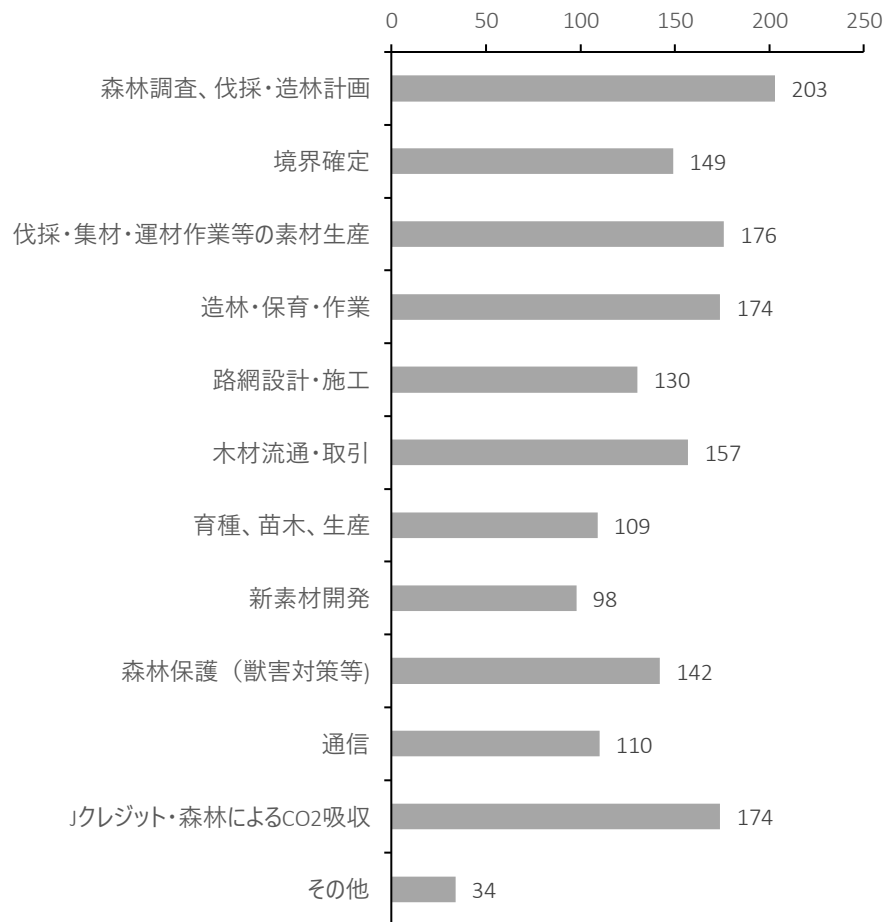
森林・林業分野への参入状況



プラットフォームを知ったきっかけ



興味・関心のある領域 ※複数回答



会員向けにニーズ・シーズに関するアンケートを実施中です

ニーズ・シーズ調査（アンケート内容） 1/4

森ハブ・プラットフォーム
会員向けアンケート

貴社・貴地域の有するニーズについて教えてください
(複数ある場合はそれぞれ内容をご回答ください)

6. (1つ目) 課題の分野

- 森林調査、伐採・造林計画
- 境界確定
- 伐採・集材・運材作業等の素材生産
- 造林・保育作業
- 路網設計・施工
- 木材流通・取引
- 育種、苗木生産
- 新素材開発
- 森林保護（獣害対策等）
- 通信
- クレジット・森林によるCO2吸収
- その他

7. 解決したい課題の詳細（現場、業務での困りごと）

8. その課題解決に想定している期間

- 半年以内
- 1~2年以内
- 3~5年以内
- 5年以上

9. 課題を解決して実現したい未来

10. 求める解決策、必要とする技術や人材・知見等

11. 他にも課題がありますか（※ない場合は「次へ」ボタンを押下してください）

- ある（次の課題入力へ）

ページ 2/7

パスワードを記載しないでください。 [不正使用を報告する](#)

会員向けにニーズ・シーズに関するアンケートを実施中です

ニーズ・シーズ調査（アンケート内容） 2/4

貴社・貴組織の有するシーズについて教えてください ※研究段階の技術含む
(複数ある場合はそれぞれご回答ください)

12. (1つ目) シーズの分野

※どの分野に該当するか不明な場合は「その他」を選択してください

- 森林調査、伐採・造林計画
- 境界確定
- 伐採・集材・運材作業等の素材生産
- 造林・保育作業
- 路網設計・施工
- 木材流通・取引
- 育種、苗木生産
- 新素材開発
- 森林保護（獣害対策等）
- 通信
- クレジット・森林によるCO2吸収
- その他

13. シーズの詳細（※具体的な研究内容や技術内容、シーズの強みや特徴）

回答を入力してください

14. 連携したい企業・地域や人材等

回答を入力してください

15. 他にもシーズがありますか（※ない場合は「次へ」ボタンを押下してください）

- ある（次のシーズ入力へ）

戻る

次へ

ページ 3/7

パスワードを記載しないでください。 [不正使用を報告する](#)

会員向けにニーズ・シーズに関するアンケートを実施中です

ニーズ・シーズ調査（アンケート内容） 3/4

森ハブ・プラットフォーム機能のうち、「会員にとって有益な情報の提供、会員間の情報交換の促進」についてお答えください

16. 次の選択肢のうち、森ハブに最も期待する機能はどれですか（順位を付けてください）

会員にとって有益な情報の提供、会員間の情報交換の促進

ワークショップや交流会等のイベント等による協業・連携に向けたマッチング支援

特定のテーマを取り扱うワーキンググループの組成・活動支援

共通課題の解決に向けたプロジェクトの組成・事業化に向けたサポート

17. どのような情報の提供を期待していますか

回答を入力してください

18. 会員間の情報交換の促進について、具体的な希望があれば教えてください

回答を入力してください

戻る

次へ

ページ 4/7

パスワードを記載しないでください。 [不正使用を報告する](#)

森ハブ・プラットフォーム機能のうち「ワークショップや交流会等のイベント等による協業・連携に向けたマッチング支援」についてお答えください

19. 望ましいイベントの参加手段について

現地/会場で参加したい

オンラインで参加したい

その他

20. 期待するイベントの形式について（複数回答可）

有識者による基調講演・勉強会

ワークショップ・グループワーク

交流会・懇親会

会員自身によるプレゼンやポスター発表などのニーズ・シーズに関する情報発信

その他

21. その他、イベントにかかる具体的な希望等

回答を入力してください

22. マッチングにかかる具体的な希望等

回答を入力してください

戻る

次へ

ページ 5/7

会員向けにニーズ・シーズに関するアンケートを実施中です

ニーズ・シーズ調査（アンケート内容） 4/4

森ハブ・プラットフォーム機能のうち「共通課題の解決に向けたプロジェクトの組成・事業化に向けたサポート」についてお答えください

23. プロジェクトの組成・事業化に向けたサポートにかかる具体的な希望

回答を入力してください

戻る

次へ

ページ 6/7

パスワードを記載しないでください。 [不正使用を報告する](#)

森ハブに対する意見等

24. その他、事務局への要望事項、ご不明点、相談事項などございましたらご記載ください

回答を入力してください

戻る

送信

ページ 7/7

パスワードを記載しないでください。 [不正使用を報告する](#)

会員向けに会員紹介シートの作成を依頼中です

会員紹介シートフォーマット

XXXX株式会社		作成日（更新日）：2023/XX/XX	MORI-HUB
企業ロゴ 市章・町章 イメージ写真等	住所	〒	
	代表電話番号		
	創業年 （※企業のみ）		
	WEBページ		
	担当者所属・名前		
	担当者連絡先	TEL :	MAIL :
事業・研究の 概要	➢ XXX ➢ XXX ➢ XXX		
強み・独自性	➢ XXX ➢ XXX ➢ XXX		
興味・関心のある領域	森林調査、伐採・造林計画 / 境界確定 / 伐採・集材・運材作業等の素材生産 造林・保育作業 / 路網設計・施工 / 木材流通・取引 / 育種、苗木生産 / 新素材開発 森林保護（獣害対策等） / 通信 / Jクレジット・森林によるCO2吸収 / その他（ ）		
取組みたい課題 ・ 連携したい地域・ 企業等のイメージ	➢ XXX ➢ XXX ➢ XXX		
その他自由記述	➢ XXX ➢ XXX ➢ XXX		

※ 情報は記載時点のものとし、会員外への公開はお控えください
ご記載いただいた情報は森ハブプラットフォーム会員を対象に配布・公開いたしますので予めご留意ください。

森ハブ・プラットフォームへの参画を促すプロモーション活動および会員間の交流機会創出を目的として、キックオフイベントを行います

キックオフイベント実施概要

目的・位置づけ	<ul style="list-style-type: none">✓ 森ハブ・プラットフォームへの参画促進✓ 森ハブ・プラットフォーム設置の背景・目的、今後の取組、林業現場の課題・ニーズ情報の共有✓ 森ハブ・プラットフォーム会員間の交流機会創出
開催日時	(日程確定) 2023年11月29日 (水) 13:30～16:15予定
開催方法	<ul style="list-style-type: none">✓ 農林水産省講堂✓ オフラインのみでの実施とする ただし、第1部の内容はZoomの録画機能で動画撮影し 後日会員向けにYoutubeリンクの限定公開で共有する
対象者	<ul style="list-style-type: none">✓ 森ハブ・プラットフォーム会員 (森ハブ事業に興味・関心が高い企業や地域等を想定)✓ 参加予定人数：上限200人

当日はアンケート結果を基にした課題・ニーズ等の情報提供や、今後のプラットフォームでの活動において会員間のマッチングに繋げていくためのプログラムを予定しています

当日のプログラム（予定）

プログラム		内容	発表者	時間配分
第1部	1. ご挨拶	—	林野庁	5分
	2. 森ハブ・プラットフォームのご説明	森ハブ・プラットフォーム設置の背景・目的、機能・今後の展開、林業現場の課題・ニーズ等について説明	林野庁	20分
	3. 講演：森ハブ・プラットフォームへ参画する会員に向けて（仮題）	プラットフォームを活用してどのように自らの事業等に役立てることができるか、会員登録しているだけでなく、自ら発信していくこと、能動的に参画することの重要性を会員へアドバイス	森ハブ専門委員 見山先生	20分
	4. 事例紹介 ①中川：ドローンによる苗木運搬 ②elever labo：電動型一輪クローラの開発	事例①：新たな技術を導入して生産性、安全性が改善、職員の生活や採用・人材育成にも好影響の事例として紹介 事例②：他分野から林業分野へ参入し、現場ニーズを踏まえて造林作業向けの機械を開発、製品化した事例として紹介	【進行・総括】 森ハブ専門委員 立花先生 【発表】 各事業者	45分
	休憩（レイアウト変更）			15分
第2部	5. 情報交換会（会員間交流）	事前アンケートで興味関心のある分野を選択いただき、ブースに分かれて自己紹介＆情報交換（途中ブース移動して複数ブースを回ることを想定）	【各ブース進行】 トーマツ・林野庁	60分

【ご参考】 キックオフイベントリーフレット

令和5年度 森ハブ・プラットフォーム キックオフイベント

林業イノベーションの推進に必要な組織・人材・情報が集まる「森ハブ・プラットフォーム」を今年9月に開設し、既に多くの企業等に会員になっていただいています。
本イベントでは、プラットフォームの今後の活動紹介や、会員へのアンケート結果を踏まえた林業現場の課題・技術開発ニーズなどの情報提供、さらには会員間の交流を行います。
会員の皆様はもちろん、この取組に関心のある企業等の皆様も、この機会にぜひご参加ください！



日時

令和5年11月29日(水)
13:30～16:15 **参加費無料**

会場

農林水産省 7階講堂
(東京都千代田区霞が関 1-2-1)

申込方法

お申込みは森ハブ・プラットフォーム会員に限ります【申込期限：令和5年11月20日(月)】

① まずは会員登録を
行ってください。
(既に登録済みの方は②へ)



[会員登録フォームはこちら](#)

② イベント参加の申込みは、
申込フォームより行ってください。
※応募状況を踏まえ、参加人数を調整させていただきます
可能性があります。

[申込フォームはこちら](#)

申込用
QRコード

プログラム
(予定)

第1部

- 13:30 - 13:35 主催者挨拶
- 13:35 - 13:55 主催者説明 (森ハブ・プラットフォームについて)
- 講演「
13:55 - 14:15 見山 謙一郎 氏 (事業構想大学院大学 特任教授)
- 事例紹介・総括
14:15 - 15:00 立花 敏 氏 (筑波大学 生命環境系 准教授)

※第1部の内容は、後日、会員向けに動画で共有されます。

第2部

- 15:15 - 16:15 会員間交流・情報交換会

事例①ドローンによる苗木運搬

中川 雅也 氏 (株式会社中川)
新技術の積極導入により、生産性、安全性の向上に加え、雇用環境を改善、新たなビジネス機会も創出。



事例②電動型一輪クローラの開発

上月 康博 氏 (elever labo 合同会社)
他分野から林業分野へ参入し、現場ニーズを踏まえて造林作業向けの機械を開発、製品化。



<主催>
林野庁
<お問い合わせ先>
森ハブ事務局：有限責任監査法人トーマツ
E-mail: mori-hub-pf@tohmatu.co.jp

森ハブ・プラットフォームの
詳細はこちら (林野庁HP)
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kaihatu/morihub/morihub.html>

